

# 薩摩藩の天文・測量



薩陽 天文生 水間良包

薩陽

天文生

水間良包謹

かのどのどろ 軫宿水曜值年 奎宿 凡日數三

正月小 二月大 三月大 四月小 五月大

七月大 八月小 九月大 十月小 十一月小

くじまの星はちみちとくちりきく初方は

しりまのほうはちみちとくちりきく初方は

るはちみちのほうはちみちとくちりきく初方は

るはちみちのほうはちみちとくちりきく初方は

まはちみちのほうはちみちとくちりきく初方は



## 薩摩曆

薩摩で独自の曆が作られるようになったのは、鎌倉時代の初め、島津家の祖・忠久が農民たちに種蒔きなどの日時を教える為に曆官を招き作らせたのが始まりだという



伝島津忠久画像  
(尚古集成館蔵)

貞享元年(1684)年、徳川幕府は日本で初めて天体観測を基に作られた「貞享暦」を採用した。観測したのは、幕府の天文暦学者・渋川春海であった。

幕府は「貞享歴」の採用を機に、日本中の暦を統一しようとした。だが、薩摩藩だけは中央から遠く離れ、暦を容易に入手できないという理由で、藩独自の暦を作り続け、藩内でそれを使用する事を幕府から認められた。



十二時入迄

十二時七分迄

十一時入迄

十時入迄

九時入迄

八時入迄

七時入迄

六時入迄

五時入迄

四時入迄

三時入迄

二時入迄

一時入迄

十一月大

建壬子

土公在北及庭

六時七分迄

六時五分迄

六時三分迄

六時一分迄

六時迄

五時五分迄

五時三分迄

五時一分迄

五時迄

四時五分迄

四時三分迄

四時一分迄

四時迄

三時五分迄

三時三分迄

三時一分迄

三時迄

二時五分迄

二時三分迄

二時一分迄

二時迄

一時五分迄

一時三分迄

一時一分迄

一時迄

正時迄

子時迄

丑時迄

寅時迄

母倉

明堂

生氣

七聖

六合

大明

月忌

司命

吉慶

子時迄

丑時迄

寅時迄

卯時迄

辰時迄

巳時迄

午時迄

未時迄

申時迄

酉時迄

戌時迄

亥時迄

子時迄

丑時迄

寅時迄

卯時迄

辰時迄

巳時迄

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

HD

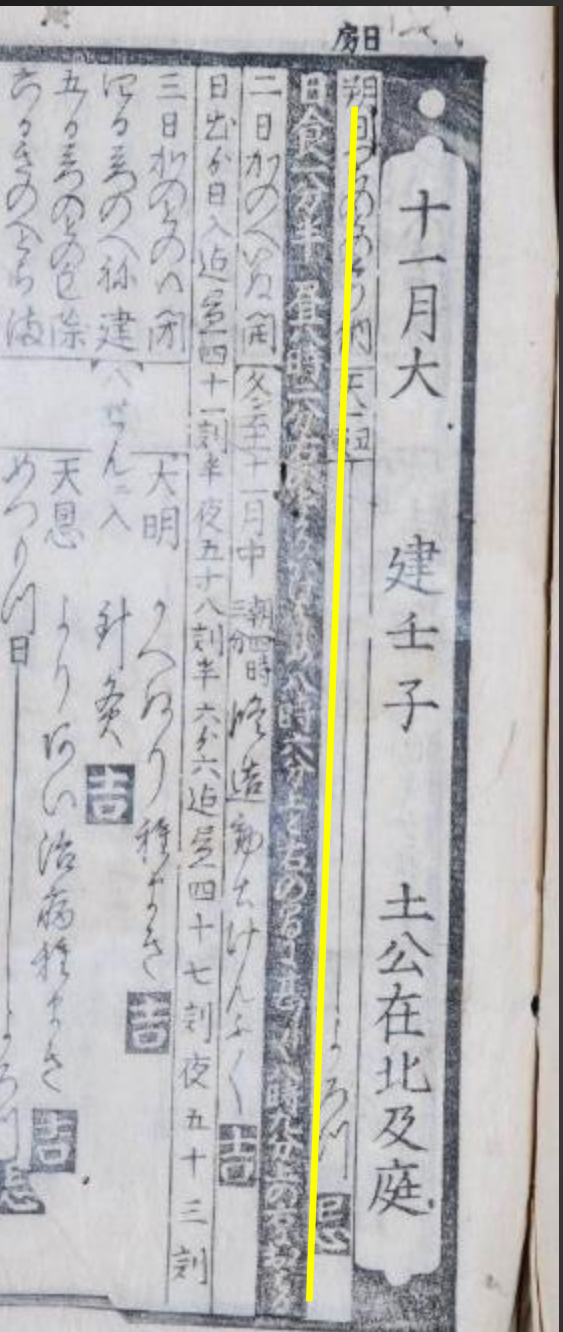
文久2年(1862)11月朔日

(15%) (午後2時2分)

日食一分半 昼八時二分右の上よりか

けはしめ、八時六分上と右の間に甚しく、

八時九分上の右におはる



14時10分に日食始まり、

食分は10%

宝暦十三年九月  
朔日、日食が起こ  
る。食分は四分。



薩摩の暦官  
磯永周英





# 外城配置図

■ 私領地  
□ 直轄地



薩摩の曆官  
磯永周英



宝暦13年の失態を受け、幕府は明和元年(1764)に山路主住、佐々木文次郎を天文方に任じ、改暦を目指す

磯永の弟子・水間良実が江戸に派遣され、佐々木から作暦を学ぶ

実際は教えに？

帰国後、水間は初代明時館(天文館)館長に







磯永彦助  
(長沢鼎)

薩摩の高度な測量技術を

物語る国絵図



# 国

# 絵

# 図

江戸時代、幕府は慶長・正保・元禄・天保と全国規模で国絵図事業を展開、巨大な絵図を作成させて権威を誇示した。

薩摩藩が担当した国絵図の精度は、幕府・他藩が作製したものと違って極めて高く、薩摩藩が高度な測量技術を持っていたことを示している。

吉野疎水、関吉取水口





吉野疎水、関吉取水口





● 関吉取水口

葛蒲谷 大

市立少年自然の家

川上

勝

(李々谷)

上ノ原

竜ヶ水 (塩ヶ水)

下田

中別府

井迫

相模川 (榑木) 川

(善野) 森 水

中ノ町

七社

三船

七窪

川添

大明丘

裏方

花倉

坂元

雀ヶ宮

● 仙巖園

滝之上

磯

集成館跡















高度な測量技術はどこから？

# 外城配置図

■ 私領地  
□ 直轄地

## 磯永(磯長)家は、中世、中国貿易に従事か？



薩摩の曆官  
磯永周英

## 「磯長家系譜」

倭寇ノ中ニ隅之甲祢寝浦磯永某アリ(略)

河内国磯長地ヨリ一葦帯水ヲ隔テタル四国ニ移リ居タル磯長村ハ此ノ時ニ於テ四国ヨリ根拠地ニ近クシテ且大河ノ便アル根占ノ地ヲ選ビテ移住シ、将来腰刀ヲ脱シテ一時商人トナリ盛ンニ貿易ヲ営ミ



九州は海外交易の拠点であった。



# 中世の主な湊









江戸時代初期の甲突川  
( 清 滝 川 )





江戸時代に付け替えられた甲突川



YAMADA





天降川筋直し三五〇年記念碑

天降川筋直し三五〇年記念碑

天降川筋直し三五〇年記念碑







## 長崎堤防

延宝7年(1679)から貞享4年(1687)、川内川に長さ650<sup>㍎</sup>におよぶ鋸方の堤防を築く。



汾陽光東墓



汾陽理心(郭国安)墓